

実習先	多摩市民館
目的・テーマ	(多摩市民館3)地域・社会における子どもや大人の学びを企画・支援する基礎的知識・技術の習得
目的・概要	受講学生・実習先の問題意識・背景・目的等 参加者やボランティアの人にも話を聞き、活動を通しての楽しさやどのような学びの場交流の場となっているのか、第三者の立場から考える。また、そこでの課題も考える。
	概要 多摩市民館を拠点に、身近な課題をテーマとした学級や講座、イベントの運営などに携わる。「識字学習活動」「子育て支援広場」「多摩区の歴史と今」「たまたま子育てまつり」「ちっちゃな演劇フェスティバル」。
分野	教育
形態・期間・人数	長期継続 ・ 50時間
方法	見学・参加・体験・ボランティア
プログラム	(事前) 実習登録書・実習日誌の説明を行うとともに、実習に関する注意事項を講義し、訪問指導の教員から心構えを伝える。
	(事中) ・「識字学習活動」日本語を理解していない外国人の学習を支援する活動。学生から大人までが対象で、他国の人々と交流しながら活動している。日本語の習得度によってクラスがある。 ・「子育て支援広場」親子を対象に、交流の場として提供している。おもちゃや絵本など子どもが楽しめる内容がある。参加している人は、子どもを沢山のおもちゃで遊ばせたいという人や交流したい人がいる。 ・「多摩区の歴史と今」多摩区に住んでいる高齢者が自らの多摩区の歴史を加えながら、自分の住んでいる土地をより深く伝える。参加者は高齢者の方が多い。 ・「たまたま子育てまつり」小学校のチームが劇を紹介したり、フリーマーケットが行われた。また、地区で活動しているお笑いフェスタ、ダンスなどが行われた。 ・「ちっちゃな演劇フェスティバル」各グループ団体が自分の劇を発表し、子どもからお年寄りまで参加した。各団体が考えた物語を発表した。
	1時間20分のうち50分間のグループワーク(活動報告、受け入れ先の学習の場としての意義と課題、自分自身が学んだこと)をし、A4用紙に簡潔にまとめ、グループ発表。 担当教員による30分間の全体講評、アンケートの記入。
方法論上の特記事項	

<p>成果</p>	<p>(学生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な年齢の方と携わることができ、多摩区の魅力を知れた。 ・この経験を通して、就職活動の考えるきっかけとなった。 ・イベントを企画する背景には、市民館の人やボランティアの方たちなど様々な人々が協力して作り上げていると知った。 	<p>(表、グラフ、数値など定量的成果)</p>
	<p>(受入先)</p> <p>携わった事業において、それぞれ異なる世代の参加者とも常に明るく接して対応していました。</p>	
	<p>(その他、地域住民、連携先等)</p>	
<p>実施イメージ</p>		
<p>資料・写真等</p>		
<p>実施主体 関係情報</p>		